

「福島市バリアフリー基本構想」について

令和 4年 9月 30日(金)

福島市 都市政策部 交通政策課

【参考】バリアフリーに関する取組み



【点字案内板】



【視線誘導シート】



【段差解消】



【視線誘導シート】

公共交通(車両)のバリアフリー化



【ノンステップバス】



【UDタクシー】

ソフト面のバリアフリー

多くの人々が参画するさまざまな取組みを推進



【パラスポーツの振興】



【いきいき！ふくしまマーケット】



【農福連携の推進】

心のバリアフリー

お互いを理解し助け合う優しい心を育む取組みを推進



【バリアフリー教室】



【小学校へ出前教室】



【ヘルプマーク・カード】



バリアフリーマスタープラン ①



○マスタープラン策定の背景と目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、バリアフリー推進パッケージに取り組んでおり、面的・一体的なハード整備や心のバリアフリーを推進するためのソフト施策など、バリアフリーの基本的な方針を定めるため、令和3年6月にバリアフリーマスタープランを策定。

○マスタープランの基本理念

『誰にでもやさしいまち ふくしま』

国、県、企業、関係団体との連携を強化し、官民一体となったソフト・ハード両面のバリアフリーを実践し、「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現を目指す。

○マスタープランの基本方針

基本目標1 心のバリアフリーの推進

高齢者や障がい者、外国人など、全ての人々の社会参加を促進し、活躍の機会を増やすため、**誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「心のバリアフリー」の取り組みを推進**します。

基本目標2 多くの人々が参画するバリアフリーへの取り組み

バリアフリーの推進に関する市の取り組みの趣旨・目的に賛同し、連携・協力いただける民間事務所や団体などを「**バリアフリー推進パートナー**」とし、それぞれが主体的となることができるバリアフリー化の取り組みを進めます。

基本目標3 ユニバーサルデザインによるまちづくり

高齢者や障がい者、外国人など全ての人々がよく利用する施設のバリアフリー化とユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）の**連携**を図るため、連続した施設整備および情報発信などに取り組めます。

バリアフリーマスタープラン ②



基本目標4 わかりやすいバリアフリー環境の形成

施設と道路などにおける施設間の連携による連続したバリアフリー化を推進すると共に、**バリアフリー化された情報をわかりやすく提供することにより、アクセシビリティ（利用のしやすさ）の向上を図ります。**

基本目標5 継続的・段階的なバリアフリー化の推進

ソフト・ハード施策を柔軟に取り入れながら**段階的にバリアフリー化を進めるとともに、中長期的な視点に立ち、持続的なバリアフリー化を推進します。**

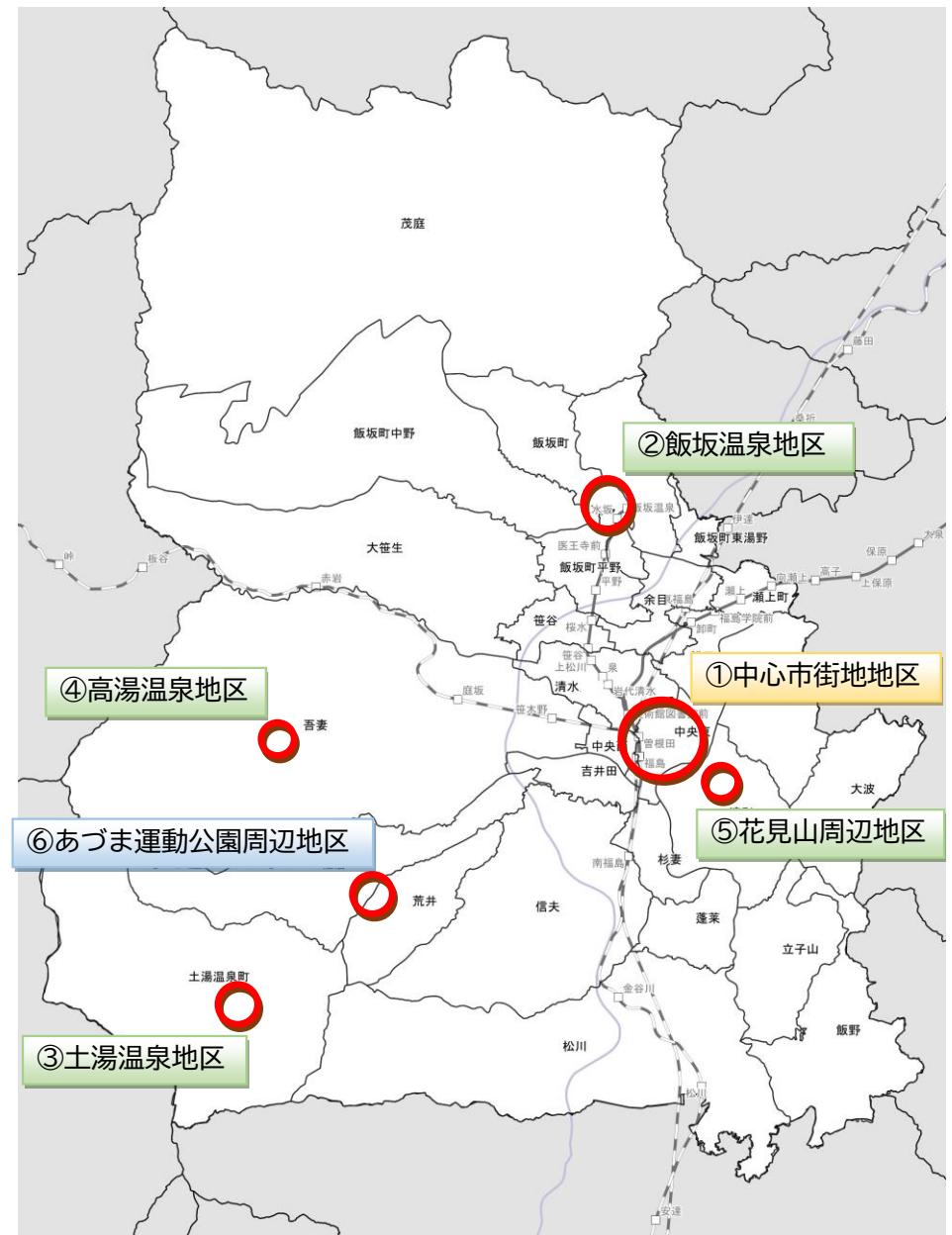
○移動等円滑化促進地区

本市において特にバリアフリー化を促進する地区を移動円滑化促進地区として選定

- ① 中心市街地地区
- ② 飯坂温泉地区
- ③ 土湯温泉地区
- ④ 高湯温泉地区
- ⑤ 花見山周辺地区
- ⑥ あづま総合運動公園周辺地区

○計画期間

令和3～7年度（5年間）



バリアフリー基本構想 ①



○基本構想とは

バリアフリーマスタープランで定めた方針に基づき、面的・一体的なバリアフリー化を具体的に推進するための計画

○対象地区

本年度は中心市街地と飯坂温泉地区を選定

○構想に位置付ける特定事業（イメージ）

公共交通特定事業
ノンステップバスの導入



道路特定事業
視覚障害者誘導用
ブロックの設置



路外駐車場特定事業
車椅子利用者用駐車区画
の整備等



建築物特定事業
建築物内のエレベーター
設置等の段差解消



交通安全特定事業
音響式信号機
残り時間のわかる信号機



ホームドアの設置等



車道との段差解消



都市公園特定事業
園路の段差解消
障害者対応型トイレの整備等



障害者対応型トイレの
整備



エスコートゾーンの設置



+ R2バリアフリー法改正により、従来のハード整備に関する事業に加え、新たにソフト事業を創設

教育啓発特定事業

(想定される事業)

- ・小中学校におけるバリアフリーに関する教育（バリアフリー教室）
- ・公共交通事業者における接遇の向上に向けた研修の実施
- ・障害者用トイレ、鉄道・バスの優先席、鉄道駅等のエレベーターの適正利用に関する広報啓発の集中的な実施
- ・高齢者、障害者等が公共交通機関等を利用する際に直面する困難や必要とする支援について理解するための講演会等

【教育啓発特定事業のイメージ】



小学生による公共交通の
利用疑似体験



タクシー事業者における
ユニバーサルマナー研修

【出典：国土交通省資料】

○策定の経過と今後の予定

令和4年度

- 7月29日 福島市地域公共交通活性化協議会
第1回バリアフリー基本構想検討分科会
- 9月22日 高齢者、障がい者団体等との
まち歩き点検①
- 30日 まち歩き点検②
- 10月7日 まち歩き点検③
- 10月下旬 第2回バリアフリー基本構想検討分科会
- 11月下旬 第3回バリアフリー基本構想検討分科会
- 1月 パブリックコメント
- 3月 基本構想公表



7月29日 バリアフリー基本構想検討分科会

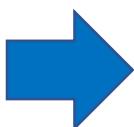
- ・有識者、交通事業者、社会福祉協議会、高齢者団体、障がい者団体、警察署、国、県、市などから構成される分科会
- ・バリアフリー基本構想の策定の方向性を決定

バリアフリー基本構想策定に向けて



○まち歩き点検

基本構想の策定にあたり、高齢者、障がい者等の移動に関する問題点を把握するため、まち歩き点検を実施



8月26日 ワーキンググループ
 ・分科会のメンバーでワーキンググループを行い、まち歩き点検のルートや施設を確認した

コース① 集合：會根田駅
 ↓
 〈會根田駅構内点検〉
 ↓
 保健福祉センターまでの経路（2組に分離）
 パターン1 実線（支援学校への最短経路と福高前バス停）
 パターン2 破線（支援学校への通学路）
 ↓
 〈保健福祉センター〉
 ↓
 （バス移動）
 ↓
 点検後意見交換会：市民会館

コース②
 集合：文化センター
 ↓
 NCV体育館までの経路
 ↓
 〈NCV体育館〉
 ↓
 市民会館までの経路
 ↓
 点検後意見交換会：市民会館

9月22日 まち歩き点検、意見交換会



まち歩き点検状況



車いすでのバス乗車状況



施設点検状況



意見交換会の様子

まち歩き点検の今後の予定



9月30日(金) 午後～



9月30日(金) 午後1時30分～

コース③
 集合：福島駅東口
 ↓
 東西連絡通路(地下)
 ↓
 福島駅西口
 ↓
 〈福島駅構内点検(改札内連絡通路)〉
 ↓
 駅前通り
 ↓
 点検後意見交換会：福島学院大学

コース④
 集合：ダイユーエイトMAX
 ↓
 〈ダイユーエイトMAX〉
 ↓
 福島駅方面へ向かう経路
 ↓
 吾妻通り
 ↓
 〈まちなか広場〉
 ↓
 点検後意見交換会：福島学院大学

10月7日(金) 午前～



10月7日(金) 午前9時30分～

コース① 集合：飯坂温泉駅
 ↓
 〈波来湯〉
 ↓
 〈旧堀切邸〉
 ↓
 〈鯖古湯〉
 ↓
 飯坂温泉駅までの経路
 (駅から旧堀切邸や鯖古湯を巡る経路は観光客向けのモデルコース)
 ↓
 (自由移動)
 ↓
 点検後意見交換会：飯坂学習センター

コース② 集合：飯坂温泉駅
 ↓
 〈十綱橋点検〉
 ↓
 〈飯坂温泉駅〉
 ↓
 (電車移動)
 ↓
 〈花水坂駅〉
 ↓
 〈片岡鶴太郎美術庭園〉
 ↓
 点検後意見交換会：飯坂学習センター

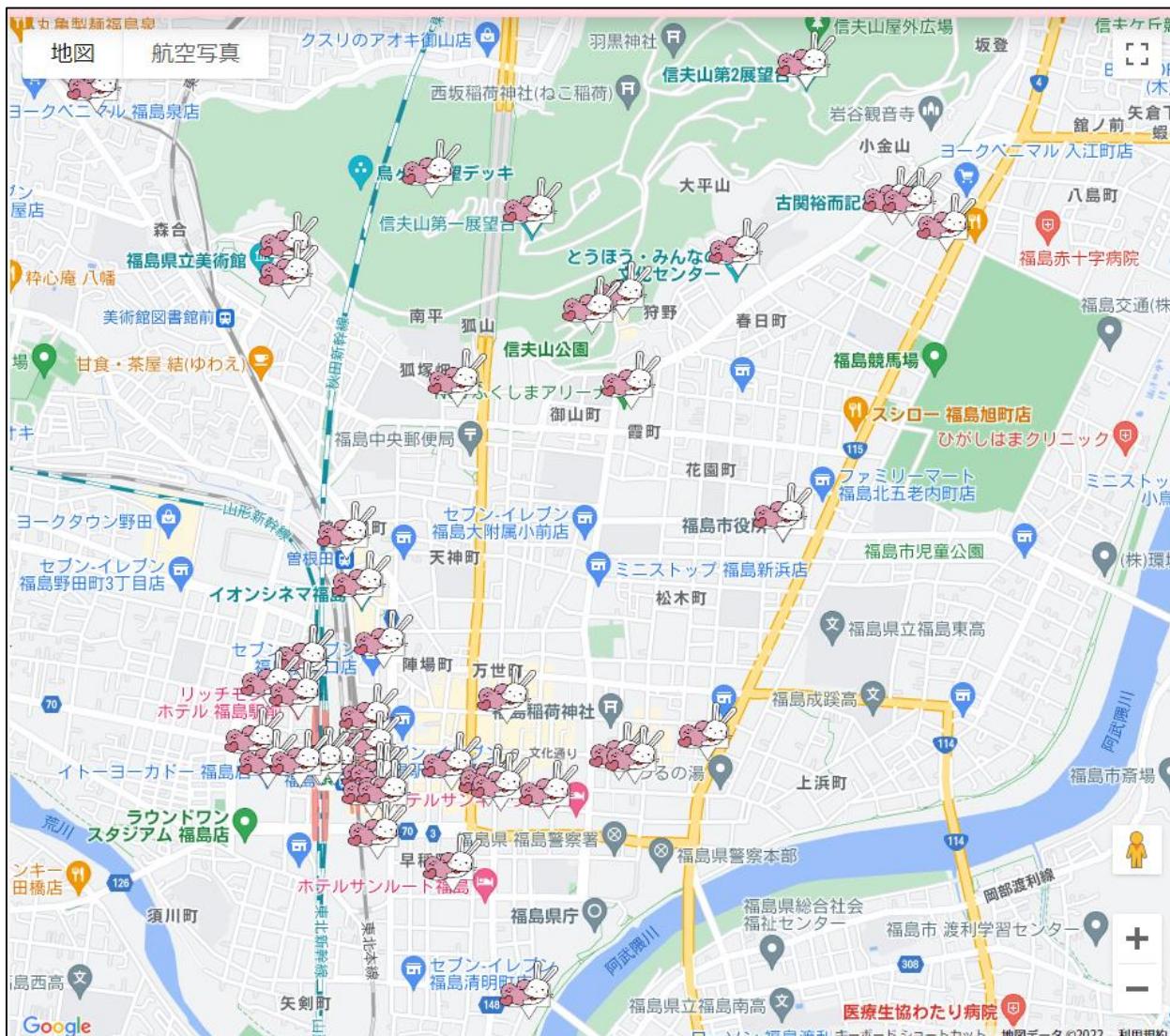
バリアフリーマップの紹介

高齢者や障がい者、外国人などの全ての人が、移動に
する際や施設利用における利便性や安全性を向上させる
ための取り組みです。WEB上に掲載されており、英語表
記に切り替えもできます。

ふくしま市バリアフリーマップ



※今年度は日本財団「共生社会実現に向けた移動円滑化基金」を受けて
バリアフリーマップの情報更新をいたします。



(例) 福島市役所

一覧に戻る 駐車場・館内設備 トイレ エレベーター 飲食

福島市役所

中心市街地 官公庁等

ツイート シェアする LINEで送る

駐車場・館内設備

トイレ

エレベーター

飲食

対応しているバリアフリーの種類

駐車場・館内設備

WC

エレベーター

飲食

13

